

# AFPYだより

Adventure Friendship Program in Yamaguchi

第 3 号

H26.7.11

山口県教育庁 義務教育課

社会教育・文化財課

## 学期末

学期末を迎えました。日々の授業はもちろん、集会活動、運動会など様々な体験活動の場を通して、4月よりも成長した集団や個の姿が先生方に見えているのではないかと思います。

## ファシリテーターとしての意識

前号でお伝えしたように、ファシリテーターとは、子どもたちが主体的にチャレンジできるようにするための「支援者・促進者」として考えています。

学級では、例えば次のような点を意識しながら、子どもたちと関わることが求められています。

### ① 目標（学級・個人）の意識づけ・ふりかえり・目標達成のための新たな実践

目標が単なる“飾り”ではなく、子どもたちの成長のための基準となるように。

### ② 子どもたちと共同したクラスづくり

学級は、自分たちの生活の場であり、更に充実した環境にしたいと子どもたちが感じ、子どもたち自身の取組となるように。

### ③ 多様な考え方の受容・選択肢の提供

話し合いによる解決では、「Yes or No」の選択ではなく、子どもたちに多様で複数の選択肢から意思決定できるように。

### ④ 学び続ける前向きさ

対立も成長のチャンスと子どもたちが感じられるように。

## ともに学んで いきませんか

山口県教育委員会は、体験活動による個人や集団の成長について学ぶ研修会を開催しています。十種ヶ峰青少年自然の家（山口市阿東）を会場にした「AFPY/森のチャレンジコース研修会」では、体験コース・養成コースに分かれて研修します。自分の成長を体感したり、ファシリテーターとしてグループの見方・関わり方等について実践的に学んだりします。

普段の学級経営に生かすため、また、たくさんの仲間と語り、今後の学びのつながりを得るため、研修に参加してみませんか。

皆さんの「ふみだす一歩」のチャレンジを応援いたします。



前回（5/24-25）活動の様子

次回：平成26年10月11日（土）～12日（日）【1泊2日】※申込受付中

～社会教育・文化財課のHPで、AFPYに関するリーフレットや研修会情報等をお知らせしています。～

AFPY |

検索

# 生きて成長する学級目標を

《ねらい》学級目標と各個人の目標を共有した学級づくり			
『クラスの木 ビーイング』			
教科・領域等	特別活動（学級活動・学校行事）、朝・終学活（朝・終わりの会）	時間	10～50分
準備物	学級目標（ビーイング）		
活動の実際 ※留意点	<p>①定期テスト・文化祭等の前に、学級目標に対する個人目標を付箋に書いて共有する。（※1 参照）</p> <p>②週末の学活で個人目標の達成率をクイックチェック（※2 親指の角度で、今の自分の気持ちを伝えるチェック法。お互いの気持ちを視覚的に紹介）する。生活ノートに点数化したものを書き、100点にするために努力したいことを記入する。担任はアドバイス等を朱書きして返す。</p> <p>③行事等終了後にふりかえりを行う。新たな課題や目標があれば、学級での話し合いの後、学級目標に付箋を付け加える。（共有）</p>		
ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の行事等で学級目標の〇〇を見ることはできた？</li> <li>・今回の行事等で学級目標の〇〇を聞くことはできた？</li> <li>・今回の行事等で学級目標の〇〇を感じることはできた？</li> </ul>		
継続的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回のクイックチェックを2回、3回と増やしていく。（生活ノートへの記入は週末だけでもよい）</li> <li>・友だちの目標への取組や頑張りを目を向けた児童生徒を紹介することで、その良さを価値付ける。</li> </ul>		
子どもたちの感想や変容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標を意識した行動がとれるようになり、自分自身の目標がバージョンアップされていった。</li> <li>・友だちの動きに関心を示し、良さを見つけようとするよう意識が高まった。</li> <li>・自分自身の良さを発揮しようとする実践する行動が多く見られるようになった。</li> </ul>		
実践者からのひとこと	<p>自分たち自身で決めた学級目標ですが、決めただけで何もしないでおくと、ただのお飾りになってしまいます。日々の学校生活がまさにAFPYのアクティビティです。日々、児童生徒の関わりをよく観察し、学級目標・個人目標と関連してふりかえっていくことが大切であると感じています。</p> <p>長期休業は各個人に任された時間が多いからこそ自主性・自立性を養う最高のアクティビティ！休業前の目標設定と自己チェックの継続はとても重要です。</p>		

（周防大島町立情島小中学校 平井 一 校長先生による学級担任時代の実践）



※1

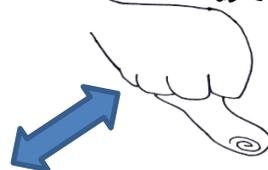
【5月のビーイング】 「木の葉」が個人目標の付箋になってます。これから、この付箋が増え、緑に生い茂った木に成長していくと思います。



あてはまり度 100%



あてはまり度 20%



※2

【クイックチェック】 「今の体調は？」などの問いに対して、親指の角度によりあてはまり度を表す。